

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：環境アニメイテッドやお

活動地域：大阪府八尾市高安地域

活動におけるテーマ・キャッチコピー

持続可能な都会派里山暮らしが集まるまち

活動団体紹介・目指す地域の姿

大都市圏から近い里山



ニッポンバラタナゴ（地域名：きんたい）

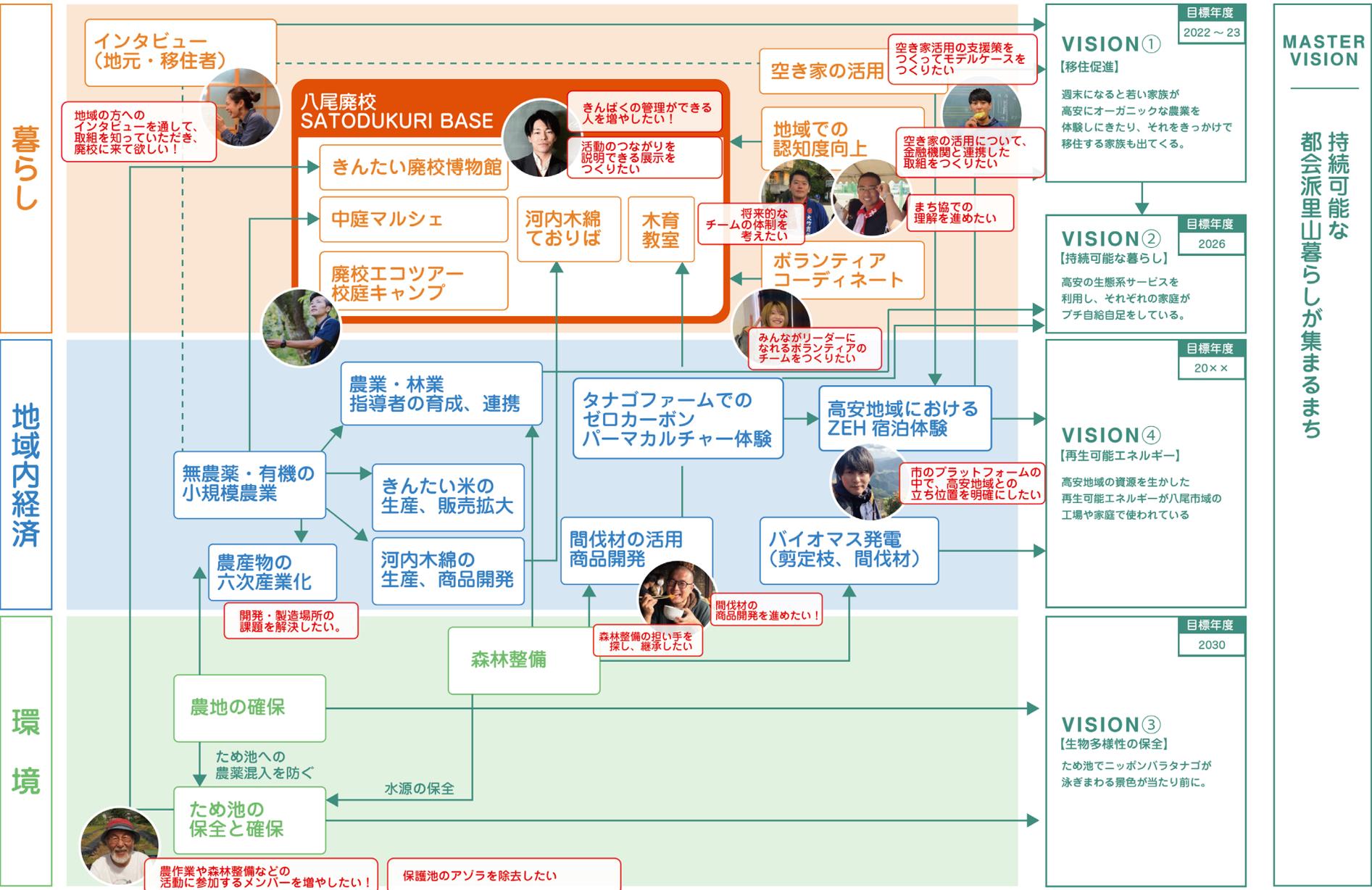


八尾廃校

SATODUKURI BASE

<https://www.satodukuri.jp/>

活動団体紹介・目指す地域の姿



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと①

▲ 八尾廃校 SATODUKURI BASE

の運営及び生態系資源を活用した商品・体験の開発

VISION①

【移住促進】 週末になると若い家族が高安にオーガニックな農業を体験しにきたり、それをきっかけで移住する家族も出てくる。



- ・月1回の中庭マルシェの開催を継続することができた。(11月～、2月はコロナ影響で中止)
- ・きんたい米をイベント及び販売サイトを構築し、販売。
- ・スポンサー獲得のための資料作成及び営業開始。

廃校エコツアー

VISION①

【移住促進】 週末になると若い家族が高安にオーガニックな農業を体験しにきたり、それをきっかけで移住する家族も出てくる。



- ・エコツアー、校庭キャンプは実施できず。(地域の防災キャンプとして、日帰りのキャンプは企画、実施)
- ・八尾市内のものづくり企業からキャンプ場をつくりたいという希望を確認。
- ・地域住民の取材を行い、月に1回情報を発信している。

高安の生態系サービスを活用したモデルハウスの整備・ 地域内でのエネルギー自給のための基盤を構築

VISION②

【持続可能な暮らし】高安の生態系サービスを利用し、それぞれの家庭がプチ自給自足をしている。

VISION④

【再生可能エネルギー】高安地域の資源を生かした再生可能エネルギーが八尾市域の工場や家庭で使われている。

- ・タナゴファームのログハウスの断熱を行った。
- ・また、タナゴファームを使ったワークショップなどのテスト実施も。
- ・八尾市において、ゼロカーボンのプラットフォームが設立された。
- ・市内事業所がZEHモデルハウスの建設を計画。高安の資源を使った場づくりで連携
- ・剪定枝をチップ化することは八尾市で行うことに。但し、チップ化したものは市域外に。

今年度の取組を通じて得た気づきや課題

- コロナ禍で、開館や情報発信が思うようにできていなかったが、いざ、マルシェを実施すると毎回多くの参加が。
⇒注目度の高さを改めて実感。
- 協賛企業への資料のまとめや営業をスタートしている。
⇒コロナの状況もあって、断られるケースが多い。
企業へのもって行き方を再検討する必要あり。
- 開館時の販売で、きんたい米は完売。オンラインよりも対面の売れ行き好調。
⇒生産数が少なく、販売できる人が少ないが、高安の里山の資源を訴求できる貴重なツールの一つなので、現地に来ていない人に対しても訴求できる売り方の検討が必要。
- 拠点の老朽化が進んでおり、一部エリアが使用できない状況に。
⇒拠点が使用できなくなった場合に、どのように活動を展開するのか、次の策を考えておく必要がある。

今後の展望

- きんたい米や河内木綿、間伐材を活用した商品や体験、移動型のいきもの展示等...百貨店等での展開を模索中。高安地域だと販売できるものなどにも限りがあるので、、、

⇒地域循環共生圏に取り組む他地域と一緒に販売をすることができないか？

その方が消費者への訴求力も高まるのでは...？

- 年度を通して、空き家の調査や地主さんへのヒアリングを行っている。
⇒実際に空き家の活用事例を増やすために、支援策等を実施していく。
- タナゴファームでのイベントなど、拠点の増加。
⇒廃校以外の拠点として、タナゴファーム等の活用。
- 企業とコラボしたキャンペーン(ゆくゆくはキャン場の運営...)